

2011年4月27日

報道関係者各位

シーメンス・ジャパン株式会社

新技術 FAST CARE を搭載した 128 スライス CT 装置「SOMATOM Definition AS」発売

Maximize Outcome. Minimize Dose.
高機能・高画質をはじめとする CT に求められる「最大のアウトカム」を、
最新のハード&ソフトウェアにより「最小限の被ばく」で提供します

シーメンス・ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:織田 潤一)は、多様化する医療現場からの多様なニーズに応えるべく、新技術 FAST CARE を新たに搭載した 128 スライス CT 装置「SOMATOM Definition AS (ゾマトム ディフィニション AS)」の販売を開始いたしました。

◆FAST CARE は、高機能・高画質をはじめとする医療の質、自在かつ最適なオペレーションなど「最大の効果」を「最小限の被ばく」で得るために開発されたシーメンスの最新のソリューションです。SOMATOM Definition AS は、多様化する検査への対応、被ばくの低減、検査時間の短縮、コスト削減といった CT に求められる多様なニーズを高次元で結実させた新世代のマルチスライス CT 装置です。

Be **FAST**—**Fully Assisting Scanner Technology**

シーメンスが新たに導入した「FAST」は、複雑化するスキャン・画像再構成に関わる作業をアシストし、ワークフローを向上するための最新テクノロジーの総称です。スキャン範囲や画像再構成範囲を撮影部位に応じて自動的に、よりスピーディーに設定する「FAST Planning」、心臓 CT 検査の撮影手順を操作画面上に順次表示し、検査の信頼性と再現性を高める「FAST Cardio Wizard」など、FAST 機能を活用することで、従来は時間を要したスキャン過程の複雑な手順が自動化され、大幅に単純化されます。これは単にワークフロー効率が増すだけでなく、検査結果の再現性を高めたり、被検者の負担を軽減するなど、総合的に臨床アウトカムを最適化します。

Take **CARE**—**Combined Applications to Reduce Exposure**

CARE とは、ALARA 原則(As Low As Reasonably Achievable :合理的に可能な限り被ばくを低減する)を遵守して、被検者保護、術者保護の思想を統合的なシステムで具現化するシーメンス独自の総合的なソリューションです。被写体の大きさや撮影部位・目的に応じて管電圧を最適化することにより、CNR(Contrast-Noise-Ratio)を最適化し、最大 60%の被ばくを低減する「CARE kV」、Raw データベースの逐次的再構成法で、様々なプロトコルにおいて画質向上と最大 60%の被ばく低減を実現する「SAFIRE」などの最新ソリューションが、最小限の被ばくで最大の効果を提供します。

◆マルチスライス CT の新しい評価基準—「低被ばく」という性能

2008 年に日本に導入した SOMATOM Definition AS シリーズは、高い X 線検出能力を有する検出器素子である UFC(Ultra Fast Ceramic)検出器、被ばくを増大することなく高精細データの収集を可能とした z-Sharp Technology により、空間分解能の向上とアーチファクトの低減を実現しました。また、Adaptive Dose Shield といったシーメンス独自の線量防護機構により、スパイラルスキャン時に発生する不要な放射線被ばくを完全に遮断するなど、CT 装置のリーディングカンパニーとして、全ての CT 検査を 2.4mSv*以下で実現する事を具体的な数値目標として掲げ、継続的な「低被ばく」技術の向上に努めています。

*2.4mSv:世界の年間自然放射線レベルの平均値

◆多様な臨床ニーズに適応する Adaptive テクノロジー

多様な臨床ニーズに応えるため、SOMATOM Definition AS シリーズは Adaptive テクノロジーに総称される種々のソリューションを準備しています。撮影寝台は、施設用途に応じて 3 種類から、ガントリー開口径も 2 種類のサイズから選択可能です。また、連続往復スパイラルスキャンを行うことにより、検出器サイズに依存することなく広範囲の 4 次元データを収集する「Adaptive 4D Spiral」など、Adaptive テクノロジーを搭載したシーメンスの CT は医療現場が求める多様な臨床ニーズに適応(Adapt)します。



写真: SOMATOM Definition AS

以上

■ シーメンス ヘルスケアセクターについて

シーメンス ヘルスケアセクターは、ヘルスケア産業における世界最大のサプライヤのひとつであると同時に、画像診断、体外診断、医療情報テクノロジー、そして補聴器において業界をリードしています。

シーメンスは、予防、早期発見、診断、治療、アフターケアまで、患者ケアのすべてを包括する製品及びソリューションを提供しています。また、シーメンスはワークフローを最適化することにより、ヘルスケアサービスをより早く、より高品質かつ低コストで提供します。

シーメンス ヘルスケアでは、4 万 8,000 人以上の社員が在籍し、世界中で活動しています。2010 年度(2010 年 9 月 30 日に終了)ヘルスケアセクターの売上高は 124 億ユーロ、営業利益は 7 億 5,000 万ユーロでした。詳しい情報は、www.siemens.com/healthcare/をご覧ください。

■ 日本におけるシーメンスグループ

シーメンスは、1887 年に日本オフィスを創業以来、日本のお客様から信頼を寄せられるパートナーとして尽力してまいりました。海外のシーメンス同様、インダストリー、エネルギー、ヘルスケアの 3 つのセクターで、都市化、人口推移、気候変動、グローバル化といったメガトレンドから生じる難問に「Answers」を提供しています。シーメンスはすべてのセクターにおいて最新の製品やサービス、ソリューションにより、お客様に競争優位性をご提供しつづけるとともに、昨今の環境問題に対応してまいります。2010 年度の日本のシーメンスの売上高は、およそ 1,732 億円、社員数は約 2,500 人です。詳しい情報はwww.siemens.co.jp/にてご覧いただけます。

<本件に関するお問い合わせ>

シーメンス・ジャパン株式会社

コミュニケーション部

担当: 平山 恵里

TEL: 03-5423-8422 FAX: (03) 5423-8494

Email: eri.hirayama@siemens.com

2/2